

## 4. 平松 諭史

社会科学  
(企業・地域振興)



高梁市青年会議所(JC)第48.50代理事長

(株)リクセンとSTS(エスティーエス)代表(土木工事業)

- ・高梁花火大会(ききょうグラウンド)の初開催2022年、4千人来場)  
2023年は城南高校生とコラボして花火大会を実施
- ・ベビーファースト宣言の採択を高梁市と推進
- ・令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞

※青年会議所は(JC)は、“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体。(全国 100箇所以上の地域に17万人の会員がいる)

参考HP:[高梁市青年会議所\(JC\)](#)

#地域活性化  
#まちづくり  
#花火大会  
#イベント  
#地元企業  
#防災



## 5. 森田 徹

生活科学  
(農)

医療福祉

社会科学  
(企業・地域振興)



旧・布寄小学校エリアを「農福連携」で再生、椎茸やぶどう栽培  
障がい者の入居者とユニバーサルな地域づくり  
布寄～吹屋～宇治を繋ぐ「風の通り道プロジェクト」

社会福祉法人P.P.P 布寄オールスターズ  
(元・みずほ信託銀行 新宿支店長、2022年に首都圏から移住)

<経歴>

布寄しいたけ販売サイト: <https://allstarsfuyori.stores.jp/>

#障がい者福祉  
#廃校再生  
#農業  
#しいたけ栽培  
#ぶどう栽培  
#農福連携



## 6. 西垣 佳那

生活科学  
(食)

医療福祉

社会科学  
(企業・地域振興)



廃止の元診療所をリノベしてカフェ&地域の憩いの場に再生  
管理栄養士の資格とスキルを生かして、メニュー開発。  
Slow Space みちくさ(カフェ/地域交流スペース)高齢者支援)

### <経歴>

京都府出身。夫の西垣陽平さんと共に2020年に高梁市有漢町に移住。

二人の子育てをしながら、旧・有漢診療所の跡をリノベーションして、カフェと多世代交流スペースの機能を持つ「スロースペースみちくさ」を開業。

シフォンケーキやオリジナルカレーなどカフェメニューの開発や提供を担当している。

「みちくさ」では、週に数回、高齢者の方が集まりレクリエーションなどを行うなどもしている。キッズスペースも併設しているため、近所のママさんが子連れで来ることも。有漢の憩いの場となっている。夫の西垣陽平さんは、高梁市の「地域おこし協力隊」。地域向けのスマホ教室などしつつ、ぶどう農家として独り立ちの準備を進めている。

#カフェ  
#メニュー開発  
#高齢者福祉  
#空き店舗をセルフリノベーション  
#子育てと両立  
#移住者

公式インスタグラム: [https://www.instagram.com/slowspace\\_michikusa/](https://www.instagram.com/slowspace_michikusa/)

